2022.01.16. 聖書預言・アップデート
かつてないほど神を信頼する
JD ファラグ牧師

では、おはようございます。第一礼拝へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝があり、第一礼拝は毎週、「聖書預言・アップデート」です。第二礼拝は「聖書の学び」で、現在「ヘブル人への手紙」ほぼ終盤です。その「ヘブル書」の学びは、ハワイ時間、11時15分からライブ配信します。今回は、教会の身体/キーワードとして、私たちがいかに教会の対立を防ぎ、それが常に引き起こす無用で不必要な傷害を避けれるかを考えます。それを今日、11時15分からします。

ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、jdfarag.org へ直接行かれ、検閲なし、中断なし、完全版の今日の「聖書預言・アップデート」をご覧ください。それでは、始めましょう。準備はいいですか？頭を下げ、目を閉じるべきですか？　その隙に抜け出せますよ。OK。よろしい。それでは、では、今日のアップデートは、今起きているすべてのことに対して、これまでにないほど神を信頼することをお話したいと思います。こんにち、世界で起こっている事とは何か？　そう、かつて見たこともない事です。同意しますか？　また、このような光景は二度と見ることはないでしょう。このようにまとめることができると思います。私たちは、こんにちの欺瞞と混乱がかつてないほどであるという観点から、今までにないほど主を信頼しなければなりません。こんなの見たことないです。神の民である私たちが、こんにちのような状況に陥ったことはかつてなく、人生でこれほど、主に信頼せねばならないことは、かつてありません。シンプルに主に信頼するという話は、本当に苦労している人たちにとっては、ありきたりで決まり文句と思われる可能性があるのは痛感しています。ですから 私がしたいのは、なぜ、どうやって主を信じることができるのかを説明することです。

主は、ご自身の栄光と私たちの益のために、主だけが御出来になる方法で、私たちを見守ってくださると約束しておられます。正しい英語でないのは分かっていますが、「主は、出来ないが、御出来になりません。」メールしないでください。正しい文法でないのは分かっていますから。「主は、出来ないが、御出来になりません。」神がどういう方であられるかに矛盾し、両立しないのです。神が約束されたなら、神はその約束を果たされます。約束を守らない、が御出来になりません。ある人が数えたら、神の御言葉の中には3000以上の約束があります。たくさんの約束です。その一つ一つが神の御言葉で、今私たちがそのように言うとお互いにどのように話すべきかに繋がります。「わたしはあなたがたにわたしの言葉を与えます。」ええ、OK。いいでしょう。それを撤回できませんよ。誰かがあなたに約束しても、約束を守ってくれる保証はありません。なぜならよくあるのが、彼らが撤回するのが事実では？実行せずに。神がご自身のことばを仰れば、必ずそうなさいます。神がご自分の約束をされたら、それは確実になさり、アーメン（その通り）です。決定事項です。お付き合いいただけるなら、次のことをお話ししたいと思いますが、またそれと、いくつかの深刻な懸念に対処したいと思います。具体的に、実践的に、そしてより重要なのは、聖書的にです。まずは、その理由から始めましょう。すなわち、私たちが人生において、私たちの人生で、かつてないほど主に信頼しなければならない理由です。「なぜ」というこの質問の答えはこうです。イエスは、患難前の携挙で、イエスが私たちのためにご用意された場所へ私たちを連れて行くため私たちのために戻って来られます。それが理由です。では、祈りで締めくくりましょうか。

「まあ牧師さん、またまた登場ですね。そればっかりじゃないですか。」分かっていますよ。それには理由があります。これまでも話してきたように、 私たちの唯一の希望です。因みに、患難時代前の教会携

挙については、このように考えてください。患難時代前教会携挙の健全な教えです。これを一緒に考えてください。私たちは主を信じています。

「ラッパの響きとともに、まず、キリストにある死者がよみがえり、主にあって生き残っている私たちが、引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」(I テサロニケ　4：16-17)

私たちはそのことを主に信頼しています。なのに、このことや、あのことで、神を信頼できないのですか？　考えてみてください。私たちはそのことを主に信頼しています。かなり大ごとですね。でも私たちは、日常生活では神を信頼できないのに、永遠の命については神を信頼している？　それ、理に叶っていますか？　なので、再度、どうかお付き合いください。ご辛抱ください。最善を尽くします。イエスが、携挙について話されたのをご存知ですか？「待ってください。イエスは携挙について話されたのですか？」ーええ。事実イエスは、携挙について話して教えられただけでなく、イエスが、適切にそうなさった最初の人物ですよ。どこに記述があるか知っていますか？「ヨハネの福音書 14 章」1 節から 3 節です。少なくとも私が、これを提示しなかったら大失念になってしまいますので、その文脈や裏話などがあって、ここで何が起こっているか知っていますね？イエスは、弟子たちに、ご自分が行かねばならないことをお話しになったばかりです。

「行ってしまうのですか？」「はい。」「なぜですか？」「理由は、わたしは行って、また戻ってきます。わたしが行って、行かねばなりませんが、行けば、あなたがたに聖霊を送れるのです。」

「ええでも、私たちはもうイエス様と一緒にいられないのですか？」あなたがたは、イエスと一緒にいられませんが、あなたがたの内に、聖霊が住まわれます。」「ヨハネの福音書 14 章 1 節」の最初の言葉が鍵です。それがあまりにも良すぎて、読んだり聞いたりするたび、私たちは何となく先に進んでしまうのです。そうしないでくださいね。イエスが弟子たちに仰っているからです。

ヨハネ　14

1a あなたがたは心を騒がせてはなりません。

なぜイエスはそう仰ったのでしょうか。弟子たちの心が騒いでいたからです。なぜ弟子たちの心が騒いでいたのか。イエスが、もう彼らと一緒にいれない行かなければならないと仰ったからです。彼らは大いに悩みました。事実、原語でこの単語は、明らかに、悩むことは、動揺することを意味します。イライラする感じではなく、動揺することです。洗濯機のように、ガタガタ動く、煽るです。実に旧式の洗濯機は、覚えておられる方もおられるでしょう。若い方は知らないでしょうけど、いいです。それを実際に捕らえて、「撹拌/煽りサイクル」と名づけていました。煽りという言葉は好きではありません。煽られたり、悩んだり、邪魔されたりするのは嫌です。しかし、煽りが、衣服を洗うのです。これが弟子たちの気持ちです。彼らは大きく煽られ、大きく動揺し、大いに心配し、大いに悩みました。今、イエスは、彼らを落ち着かせ、整え、ご自分が行かなければならないことをその理由を、説明されます。それで実に、弟子たちは、イエスに行ってほしいと思うのです。イエスが行ってしまわれる理由を、弟子たちが知ったなら。実に「ヨハネの福音書 14 章」の終わりに来ると、イエスは再度仰います。「心を騒がせてはなりません。」この言葉が興味深いのは、私たちが心を悩ませる傾向があるのを意味するからです。私たちは心に＿＿＿＿を許可してしまいます。悩み、興奮、心配、不安、動揺。皆さん、空欄を埋めれますね、混乱、恐れなど。イエスは仰います。「心を騒がせてはなりません。わたしはあなたがたに平安を与えるため来ました。混乱ではありません。わたしが与える平安は、世が与える平安ではありません。わたしがあなたがたに与

える平安は、あなたがたの人生で起こっている事柄を前提としません。怖くて難しいことですが。
「心を騒がせてはなりません。心に騒ぐように許可を与えてはいけません。」そして、イエスはその理由を説明されます。

ヨハネ　14

1b 神を信じ、またわたしを信じなさい。

「あなたがたは神を信じますか？」はい。「では私を信じなさい。」

2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。…

翻訳によっては、豪邸・住処と訳されています。そしてこう仰います。

…そうでなかったら、（修辞的な問い）あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。…

「お～また来られて、私たち全員を連れて行かれるのですね？　いつですか？」「そして、どこへ？」
そう、「どこへ？」の質問とその答えがあります。

…わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

お～分かりました。それが私を安定させ、落ち着かせ、混乱ではなく平安をくれます。だから私は、心を騒がせてはいけない。私にはこの希望があるから。あなたが私のために場所を用意しに行かれ、御父の家に私のための場所をご用意されたら、子羊との結婚を完成させ、祝うための婚姻部屋ですよ。わたしが戻り、あなたがたを連れて行くその日、その時がいつなのかは、だれも知りません。一緒にいるために、戻ってくるのではありません。わたしは戻って来て、わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためあなたがたを連れて行くのです。訳のわからない話じゃありません。非常に明確で詳細な理由です。なぜなら、イエスが仰っているのは、「あなたがたをこの世から連れ出すため戻ってきます。」わたしを信じなさい。わたしを信じなさい。神を信じ、またわたしを信じなさい。あなたがたは神を信じ、
わたしを信じなさい。わたしはそれをするのです。分かりました。私たち大丈夫です。皆さん大丈夫ですか？　ちょっと説得力に欠けましたね。要は、それはそれで結構なことですが、私たちはまだ問題を抱えています。イエスがまだ来られないからです。今、世の中で起こっている事を見ながら、また心を騒がせてしまいます。一分かりました。ここで「どうやって」という話になります。具体的に、もうすぐ、もうまもなくラッパが鳴り、お約束通り、主が私たちをこの世から連れ出してくださる栄光の日が来るまで、かつてないほど主に信頼する事に関連します。「箴言 3 章 5 節 6 節」今までこの聖句を聞いたことがないのでは？　このパワフルな約束を初めて聞いたかのように明確なレンズを通して私の話を聞き、一緒についてきていただけますか？

箴言　3

5 心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。

6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

翻訳によってはこう訳しています。「主があなたの道を平らにされる」これはよく知られた聖句ですが、事の真実は、この聖句が非常に強力で、実用的定型文を私たちに与えてくれるのです。つまり、それによってこの約束を、私たちが直面しているあらゆる状況、それがどんなに混乱して恐ろしくても、重ね合わせることができるのです。混乱していて、恐ろしく、そして日を追うごとに更に混乱していて、恐ろしくなってきているように見えます。私はさらに一歩進んで、言わせて頂くと、「箴言 3 章 5 節 6 節」は、非常によく知られていますが、こんにち私たちの生活で、まさにおかれている場所に、適切に当てはまり

語られている言葉であると考えます。私たちは、弟子たちが心を騒がせたあの箇所にいるのです。彼らは大変悩みました。イエスは、彼らとのお約束において、彼らを落ち着かせ、安定させようとされます。彼らと同じように、今の私たちにも当てはまるのではないでしょうか？　イエスは私たちの心を落ち着かせたいと思っておられます。イエスは私たちを落ち着かせたいと思っておられ、私たちへのお約束を思い出してもらいたいと思っておられます。

「そう、わたしは、あなたを連れ出しに来るのです。でも、わたしがそうするまで、あなたがたの面倒を見ないと思いますか？　それは、わたしがどういう者かに当てはまりません。」主よ、もう今や大変深刻になっています。一分っています。「しかし、わたしは約束しています。あなたが心の底からわたしを信じるなら。」因みに、わたしたちが、心を込めて、すべてにおいて主を認め、主を信頼するのはいつでしょうか。私たちが理解できない時ではないですか？　それが主へと駆り立てませんか？　それが最高の場所なのです。皆さん同意されると思いますが、私たちの道をまっすぐにされるという主のお約束は いや、むしろ平らにされると言った方がいいかもしれません。人類の歴史上、最高のタイミングに来ています。特に、私たちが理解できないこと、解明できないことがたくさんある時に。理解はしていても、その理解に頼ることができないのです。それは良い事なのです。神の事でさえあります。このように、私たちが深刻な問題に直面し、自分の理解力に頼れないとき、主に信頼するしかないのです。主を認識しなければならないのです。こう考えます。私がこの説教壇に寄りかかれば、私は頼り依存します。神がここで仰っているのは、「あなたが理解していないのではなく、頼っていない。あなたは依り頼みしていない。わたしに頼りなさい。そっちを信頼せず、わたしを信頼しなさい。心の底から。生半可な気持ちではなく。心から、全てにおいて、わたしを認識しなさい。」これは、条件付きの約束というカテゴリーに入ると思います。あとで少し見ますが、実に、３つが１つです。説明します。

ここに、3 つのことがあります。3 つの前提条件とでも言いましょうか。

1 番：心の底から主を信頼すること。

2 番：自分のすべての道で主を認めること。

3 番：自分の理解に頼らない。

この３つがされれば、この前提条件が満たされれば、神が約束されること、道を示され、混乱をまっすぐにされる。私たちの道が平らになります。それが約束です。しかし条件付きです。ですからここで、たぶん自分自身に語っていますが、私は主と共に長年歩んできました。私の人生で、自分理解していると思って、それに頼っていたのかもしれない時期もう今や覚えていません。私の主との歩みの中で、今のような状況になったことはありません。だからこそ、この約束が前面に出てくるのだと思います。そして、それが約束です。神が私たちに約束してくださった事です。示される通り、私たちのために道をまっすぐにされます。私たちのために、私たちの代わりにそうなさる神がいないなら、聞いてください。いつも話している通り、これから起こることだけでなく、すでに実際起こっている事に対し、幸先が良いかどうかは疑問です。そういう理由で、今日、このことを話すよう聖霊の働きかけを感じました。神が私を励ましてくださったように、皆さんの励みになればと思い、話しています。

使徒パウロがコリントの教会宛て手紙の中で、自分が同じ状況に置かれたときに受ける慰めで他の人を慰めることについてを考えます。私たちは、自分自身が主から受けた慰めをもって、他者を慰めるのです。私たちは主から慰めを頂きました。その主から受けた慰めで、他者を慰めるのです。主から受けた励ましで、他者を励ますのです。ダビデが主において自分自身を励ましたことを考えます。ですからこれ

が、皆さんを励ますのを願います。宜しければ、残りの時間、前述の深刻な懸念に対するいくつか厳しい点に、取り組みたいと思います。非常に具体的かつ実践的に、さらに重要なのは聖書的にしたいと思います。その為、先に進むため、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。

ー本編ー
では、以下、順不同で 5 つあります。間違いなくもっとありますが、5 つの現在、多くのキリストの兄弟姉妹が直面している非常に深刻な状況です。これは、私たち教会が抱えている問題です。これは、牧師として私が直面していることです。ですから、腕まくりをし、ハワイでは長袖を着用しませんが、この時期になると、地元の人たちには「何と寒いの？21 度よ。コートが要るね。」本土の方は、ここがどういう感じか想像つかないと思います。20 度を切って 10 度台になると、、、まだ 10 度台ではないと思いますが、皆さんが「冗談だろう？」と言うようなことは言うべきではないかもしれません。
「現在、7 メートルの雪が積もり、気温は 4 度を下回っているんだよ。」とにかく、、、脱線しましたね。私たちは腕まくりして進めます。1 つ目。
１）病院で命をつないでいる大切な人への対応
いかがでしょうか。OK。繰り返しますが、私はできる限り実用的に、あなたを励ましたいと思います。非常に現実的なことで、本当に起こっています。今日この場にいらっしゃる方やオンラインでご覧になっている方の中にも、このような状況にある方がいらっしゃるのではないでしょうか。どなたかが入院されていて、深刻な状態で、命をつないでいる。現実的に思い起こす方法は、私たちの人生の日々、生まれた日も死ぬ日も、主の御手の中にあります。同じことを別の方法で言います。神が最終決定権をお持ちです。私たちは、その瞬間まで 1 秒たりとも早くこの世を去ることはありません。その瞬間がいつなのかは、神がご存知です。ある人にとっては、それは望んでいた、あるいは予想していたよりも早いです。先日、サンディエゴのマラナタチャペルのレイ・ベントレー牧師が主のもとに帰られたという悲痛なニュースがありました。私は今日、なぜなのかが分からない一人として皆さんの前に立っています。なぜなのか？　天国のこちら側ではその理由を知ることができないでしょう。しかし、私がいつも自分に言い聞かせていることの 1 つは、主のもとに行く愛する人が 仮に戻ってくることができるという選択肢が与えられたとしたら、個人的に捉えないでください。現実的にそうではありません。彼らは戻って来たくありません。つまり、なんということ、彼らは肉体を離れ、主と共にいるのですよ。私に帰って来てほしいですか？　いやいや。私はあなたに上がってきてほしいです。私は戻りたくない。そのことが長年、本当に役に立ちました。この素晴らしい教会で、主のもとに帰っていったたくさんの人たちがいます。
「主よ、なぜ？なぜですか？」と悩んだことが何度もありました。しかし、神は。ここで「ローマ人への手紙 8 章 38 節 39 節」に注目していただきたいと思います。使徒パウロが聖霊によって手紙を書いています。
ローマ　8
38 私はこう確信しています。（疑問なし）死も、いのちも、御使いたちも、（悪魔も）支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、
39 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。
娘のノエルが亡くなった時、主が本当に私に教えて下さったのは、どんな悪い状況でも、どんな辛い状況

でも、神がどれほど良いお方であるかを変えることが出来ないことです。神があなたに持っておられる愛から、あなたを引き離せるものは無いのです。死も出来ません。死もいのちも。どんな被造物も。憎しみや死、御使いや悪魔も。何もあなたを、引き離すことは出来ません。なぜそれが重要なのか？　なぜなら、これ（悲しみ）が起こると、必ず疑問が生じます。神の善良さを、神の愛を疑います。こういう時は、神のあなたへの愛が決して変わらないのを確信しなければなりません。事実何があっても、主は、心の傷ついた者の近くにおられます。そうして、あなたをもっと愛してくださいます。主はあなたを、完全な愛、アガペの愛＝無条件の愛で愛しておられます。しかし、その中で、あなたが留まらなければなりません。なぜなら、あなたが疑い出せば、神が良い方でなく、神が愛でないと考え始めてしまえば、それが起こるのは、もう時間の問題です。最後の１つ。そして先に進めます。命を繋いでおられる方がいらっしゃる人は、かつてないほど、主を信頼してください。神が奇跡を起こして下さらないとどうやって分かるのですか？　因みに今日は最後に皆さんにお伝えしたい奇跡があります。神は、奇跡の神です。偉大な医師、癒しの神です。あなたが主を信じてください。かつてないほど、主を信頼してください。２つ目。

２）私は生活の糧を失い、経済的に困窮しています。

繰り返しますが、大変現実的で大変深刻です。私は多くの中から、２つ共有したいと思います。多く、と言う意味は、聖書には、神があなたのすべての必要を必ず満たしてくださるという約束が次々と出てきます。それは当たり前のことなんです。疑問でさえありません。よろしいですか？　しかし、繰り返しますが、皆さんを大変実用的に励ましたいと思います。神は提供下さいます。神が提供されるかどうかが問題ではありません。どうやって、いつ提供されるかまたその方法なのです。神があなたの知らない宝庫から、提供して下さらないなどとどうやって分かるのですか？常に神の栄光のためにあるのです。神は提供してくださいます。ええ、 神にしてもらう方がいいですよ。家賃の支払い期限が迫って、私にはお金がありません。主を信頼してください。かつてないほど、心の底から主を信頼してください。あなたは見るでしょう。繰り返しますが、娘ノエルのことを参照させてください。これを共有するのは、主からの示唆だと思います。そして実に、別の例は、今いるこの建物です。娘ノエルが亡くなった時、医療請求書が山積みでした。この金額の請求書が郵送されてきたのを覚えています。もちろん、私にはありません。私はそれを主に捧げ、主を認め、主に信頼を置き、こう言いました。

「主よ、あなたが常に提供くださるのを知っています。私は今まで失望したことはありません。」主に信頼を置く人は、誰も失望することはありません。（ローマ　10：11 参照）

不可能でも。不可能であっても。誇張ではありません。文字通り不可能であっても、主に信頼を置くなら、決して失望させられません。がっかりさせられません。

「主よ、私は生涯あなたを信頼しました。あなたが提供下さるのを分かっています。どうやってか、いつなのかは分かりません。今すぐなら良いですが。あなたが提供下さるのを分かっています。しかし、主よ、お願いします。私にはこれを支払うお金がありません。」

その次の日、私は郵便受けに行きました。マネーオーダーが入っていたのです。匿名です。その匿名のマネーオーダー金額は、その請求金額と全く同じでした。

「主よ、ありがとうございます。主よ、あなたがどんなお方か。お～あなたは大変良いお方です。常に提供下さいます。」何度も、この建物を改装しているとき、請求が積み重なり、銀行口座を見て、買掛金を見ると、私はこんな風です。「主よ、あなたの教会のために請求書が来ています。私の口座残高ご存知ですよね。」皆さん、神は常に、私たちに必要なものをすべて用意してくださいました。私が思ったような

方法、私が思った時ではありませんでした。しかし神は、常に提供下さいました。神は提供下さいます。必ずなさいます。「マタイの福音書 6 章」実際は 19 節から 34 節ですが、31 節から 33 節を読みます。これはよく知られた一節ですが、新しいレンズを通して聞いて、見てみませんか？　イエスが話しておられます。

マタイ　6

31 ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。

32 これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。

33 まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

言い換えれば、心配することは何もない。「ええ、でも冷蔵庫に食べ物がなく、銀行に残高がありません。」あなたには、冷蔵庫に食べ物がないことも、銀行にお金がないこともご存知の天のお父様がいます。ところで、その状況についてあなたがすでに分かっている事は全てご存知なので、神に伝えねばならないということはありません。もしこうなら、想像出来ますか？「主よ、銀行にお金がありません。」「ないの？いつから？本当に？　なぜもっと早く言わなかったの？」変だとは思いますが、私たちってそう考えますよね？　まるで神がご存知ないかのように。「神よ。銀行にお金がないのです！！！」「知ってますよ。」「私は支払いをしなければなりません。」「知ってる知ってる。」あなたの天の御父は、あなたが請求書の支払いを必要なのを知っておられます。あなたの天の御父は、あなたが冷蔵庫に食べ物が必要なのを知っておられます。なぜなら、店舗棚には食べ物がないからです。どこかにあるはずですよね？失礼。全然笑えないですよね。神は提供されます。神はあなたに約束なさっています。でしょう？　ですから、撤回することは御出来になりません。私たちに御言葉を与えておられます。ですから撤回なされません。ですから、何を悩むことがありますか？　神は提供なさいます。提供なさいます。「詩篇 37 篇 25 節」多くの人に愛されていますが、その理由は明白だと思われます。イスラエルの甘美な詩人ダビデが聖霊によって書いています。

詩篇　37

25 若かったころも年老いた今も　私は見たことがない。…

年配の方が仰るのは嬉しくないですか？「私が君の年齢で、若かった頃は」子どもたちにも、私が若かったことを思い出させようとします。昔々、私が若くて髪があり、白髪ではなかった頃の写真も見せました。私は若かったし、今はそれ以上に、酸いも甘いも経験しました。これまでに、色んな経験してきました。しかし 1 つ言います。私が今までに見たことのないものは、義の者が見捨てられたり、その子どもたちがパンを乞う姿を見たことがありません。見たことはありません。そしてこれからも決して見ないでしょう。神は提供なさいます。「はい、でも牧師さん。失礼ながら、経済的な支援が必要なのですよ。」ーOK。ちょっとした考えを述べて、次へ進みます。教会の兄弟姉妹から来ることもあれば、教会から来ることもあるでしょう。どういう意味ですか？　そう、私たちは信者の体です。繰り返しますが、このことについては、「ヘブル書」の学び、第二礼拝でお話します。しかし健康体は、体の一部が助けを必要としているとき、そうするものではないでしょうか。全身で助けに来てくれるのではありませんか？　使徒パウロがコリント人に書いた「私たちは皆、同じ体の異なる部分である」という言葉を改めて考えてみました。私はいつも、絶対にやってはいけないことを考えます。私は、絶対に道具を手に持ってはいけません。私に才能がないから、犯罪なのです。しかし、釘を打とうとすると、私は、、、自分を知っています。

しかし釘を打ち込んだり、ハンマーで叩いたりするのは釘を打つと、親指を打ちます。その傷跡があります。それで、ハンマーで親指を叩いたのが、私の体です。痛い痛い痛い。愛する体にキスし出し、慰め、揉みほぐし、祈ります。「お～主よ、お願いします。親指は必要なのです。」全身で感じるのではないでしょうか？　全身で感じます。つまり親指が傷つけば、私のつま先が言います。「お～い、どうしたんだ？」ー(笑)ー OK。それは第二礼拝で。先走ってしまいました。私たちは皆、キリストの体の一部です。自分の兄弟や姉妹が困っているのを見ると、ヤコブが言うようには、彼らに言わないでください。
「温まりなさい。満腹になるまで食べて。時にランチしようぜ。」（ヤコブ　2：16 参照）
う～あなたが考えたこともない人を通して、考えたこともないような方法で、神が提供して下さらないとどうやって分かりますか？　実に、神が提供するために使う道具として、あなたは決して”彼らを”選ぶこともなかったでしょう。しかし神の栄光のためです。すべては、神の栄光のため。では、次（3 つ目）は手ごわいです。もちろん全て手ごわいですが、これはどうでしょうか。
３）私の通う教会が、この注射を推進し、要求します。
去りなさい。ー(笑)ー　いえ、マジです。愛を持って、そう言います。しかし私は強く言います。出来るだけ早く、出来るだけ遠くへとその教会から去りなさい。違う教会を見つけなさい。
「ええ、 言うは易し、行うは難しですよ、牧師さん。言うのは簡単ですよね。」「あなたには世界で一番素晴らしい教会がある。」分かっています。つまり、そうなんです。その通り。しかしそれは、また別の機会の別の話として、しかし、真剣です。私には、世界で最も素晴らしい愛に満ちた教会があります。世界中で。問題は、本土におられる方なら、車でここへは来れません。行くことのできる教会がないとき、どうしますか？　家で教会を立ち上げホームフェローシップを始めてください。この教会は、そうやって始まったのです。私たちは、小さな聖書の学びの集会でした。神がなさる事は、あなたには決して分かりませんよ。「使徒の働き 2 章」
使徒　2
46 そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、
47 神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださった。
もし教会が見つからないなら、
「二人か三人がイエスの名において集まっているところには、イエスがその中にいるのです。」
（マタイ　18：20 参照）
あなたに教会があります。それが教会です。二人か三人が集まる。そして御言葉に親しむ。家でフェローシップとして共に聖餐式に与る。多くの方が、私たちの動画を利用しているのを知っています。それが彼らの教会で、人々が集まってきます。本当にごめんなさい。可哀そうに、毎週、私を見ないといけないから。それが教会です。それが教会です。こう言わないといけません。言いたくはありませんが、スタッフや役員に言います。 私たちは、このすべてを緩く保持したほうが良いです。なぜなら、私たちには分からないから。私たちには分かりません。因みに、カナダの兄弟姉妹は、彼らは全員、今や地下に潜っています。あの美しい教会建物は？　フェンスに囲まれ、封鎖され、閉鎖され、彼らは地下に潜ってしまいました。お～それはここでも起こりうることです。ゆるやかに保持する。執着しない。OK。4 つ目。これは難しいです。
４）注射しないことで、家族や友人から拒絶されたことがあります。

補足させてください。 私はこの単語を使います。接種という言葉の代わりに注射という言葉を使ったのには理由があります。なぜなら、ジャブ/接種は、ただの接種にしか聞こえないからです。ワクチンとは呼びません。注射です。注射。彼らは、中身がなんであろうと、人々に注射しているのです。それで、大変悲しいのは、注射せず拒否する多くの人が、家族、友人から拒絶されています。このことで心を痛めている人たちからどれだけのメールを受け取っているか、皆さん想像できないでしょう。「マタイの福音書 10 章」35 節を見てください。イエスが話しておられます。

マタイ　10

35 わたしは、人をその父に、娘をその母に、嫁をその姑に逆らわせるために来たのです。

36 そのようにして家の者たちがその人の敵となるのです。

そして、イエスはこう仰います。

37 わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。

9 章を早送りすると、どうやら まさにその通り起こりました。ペテロに感謝します。私が答えてほしいと思っていた質問をペテロがしてくれたのです。彼は、イエスにこの質問をし、「マタイの福音書 19 章 27 節」でペテロが答えます。

マタイ　19

27 そのとき、ペテロはイエスに言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。それで、私たちは何をいただけるでしょうか。」

イエスの答えを聞いてください。

28 そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。

そして 29 節、これが私たちです。

29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

わお～100 倍。どこに署名すればいい？　必要ありません。イエスが既になさいました。これについて最後の 1 つ。それから最後のに進みます。これは重要です。こう言いたいのです。私の心を聞いてください。私は、、、主は、私の心をご存知です。私は決して、失礼や意地悪をしたくはありません。もちろん、意地悪したくありません。私は意地悪だったんですよね。う”～～しかし、神は。長年私の人生に深く働いて下さいました。あなたは、決断を迫られることになります。イエスに従うのか？　あなたがそのような決断をしたのであれば、あなたがイエスに従うなら、あなたは同時に彼らを残す決断もすることになります。これは本当に代償を考えると、、、教会を探すのに苦労しますよね。ありがたいことに、神の評議会全体、神の御言葉全体を説く教会はあります。見つかるでしょうが、しかし、イエスに従うことに代償があるという教えは、あまり耳にすることはありません。特に、彼らがイエスに従う決断をしたその日、彼らはすべてを犠牲にしました。仕事、家族は彼らを勘当しました。クリスチャンだったから、仕事に就くこともできませんでした。だからこそ「使徒の働き」に、彼らが自分の持ち物を使って互いに助け合い、分かち合ったという記述があるのです。家を失い、車を失い、車はありませんでしたが、失いました。彼らはすべてを失いました。でも彼らは代償を数えました。彼らは十字架を背負い、自分自身に死に、イエス

に従ったのです。あの讃美歌が大好きです。
♪　私はイエスに従うのを決めた。
♪　私はイエスに従うのを決めた。
♪　私はイエスに従うのを決めた。
♬　決して後戻りしない。
♬　決して後戻りしない。
♬　十字架を前に、世を後ろに、
♪　私はイエスに従うのを決めた。
最後の５つ目。
５）将来への不安と恐怖でいっぱいです。
大変現実的です。私は長年に渡り、不安や恐れとの闘いについて非常に率直に、あからさまに話してきました。私は勝利を歩いていますが、あなたが今日ここにお越しか、オンラインで見ておられ、恐怖と不安にさいなまれているなら実は大変良い仲間です。あなたは、聖なる書物のページを通して、多くの神の男性と女性と一緒です。彼らは大変恐れでいっぱいでした。彼らは大変不安でいっぱいでした。繰り返しますが、実際私にとって、「ピリピ人への手紙４章６節７節」これは、別の３つが１つになったものです。そんな風に言ってごめんなさい。しかしこのようにして、神は私の人生に恐怖や不安に対する勝利を与えてくださったのです。使徒パウロが手紙を書いています。
ピリピ　4
6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。
7 そうすれば、すべての理解を超えた神の平安があなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。
これが「ヨハネの福音書 14 章」でイエスが語っておられる平安です。世が与える平安ではありません。これは人間の理解を超える平安です。”あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。”３つが１つになったものが分かりましたか？「箴言 3 章 5 節 6 節」のようです。その３つとは何か？
１：あらゆることを神に感謝し、
２：あらゆることを祈り、
３：何も思い悩まない。
その３つです。あらゆることを、思いつくままに神に感謝する。感謝する/Thank という言葉は、考える/Think から来ているのですよ。思いつくままに神に感謝する。あらゆることを神に感謝する。あらゆることを祈る。あらゆることを？　そう、あらゆることを。あらゆることを神に感謝し、あらゆることを祈るのなら、何も思い煩わないでしょう。なぜ？　なぜなら、神があなたに人間の理解を超えた平安を与えて下さるからです。それは思考を迂回し、心を平安に保ちます。心を守ります。心の周りに設置された警護を思い浮かべてください。恐れがやって来て、ノックします。警護がこうします。
「ここで何をしているんだ？　出ていけ。何だ？」「お前は誰だ？」「私は警護だ。」「平安が私の名前だ。ここに恐れは入れない。出ていけ。」それが人間の理解を超えた神の平安なのです。私の場合はというとそんな時もありました。　また、皆さんに大変率直に言います。人によっては、あまりにも違和感があり

すぎかもしれませんが、まあいいでしょう。あまりにも強烈だったので、あらゆることを神に感謝する、を大声でしたこともあります。
「神様、ありがとうございます。私の指のことを感謝します。手をあなたに上げることができます。踏ん張れる足に感謝。この足、足は好きではありませんが、足のことを感謝します。体には非常に重要な部位です。再度、第二礼拝で話しますが。家族のことを感謝します。子どもたちのこと、家内のことを感謝します。私の教会のことを感謝します。これに感謝、あれに感謝、あのことを感謝します。それから祈り始めます。原語では、御座に請願するリストという意味が込められています。あなたの要望を知らせる。御座への請願です。あらゆることを、「あらゆることを？そんなの分かりませんよ。」「いえいえ！！」「リストにしてみてください。」「ええ、でもあらゆることを？」「そうあらゆることを。」分かりました。コストコ・イヴィレイ店の駐車場。それでいいの？　はい、リストに入れてください。
あらゆることを祈る。あらゆることを神に感謝する。すると、思い悩まない。今日、皆さんの前で証言します。これは効果があり、私の人生においても効果があったのです。不安な考えが浮かぶたびに、不安は浮かびます。まだ来ます。未だにノックして来ます。こう言う風です。
「あ～ 来ると思ってたよ。」「君は諦めないのかね？」「諦めないね。」恐怖や不安は非常に粘り強いものです。恐れの考えは、未だに来てノックします。しかし神は、恐れの霊を与えておられません。愛の力と規律ある考えと、8 節では、思考に入れるものについて書かれていますよね。これらのことについて考えてください。どのようなものが純粋で良い事なのか子どもの躾け方をご存知ですね。自分の思考を躾ける必要があります。それを使って、心を解き放ちます。疑惑や恐れの種がやって来ると、思考に植えつけられ、それを受け入れてしまいます。すると、それが暴れ出します。こんな感じです。さっと言います。オンラインで見ている誰かのためかもしれません。非常に重要です。こんな感じです。
「もしも、、、」皆さん空欄埋めれますね。あなたがそれを許す限りその恐怖の霊は、あなたを「もしも」の道へと誘います。「もしもこうなれば、どうなるのか？」お～考えたことなかった。「それを考えた方が良いね。」「起こるかもしれないだろ？」お～嫌だ～そして次は、ただ恐れで麻痺します。しかし、こう言ってください。「待て。私は規律ある者だ。」しっかりとお仕置きし、躾をしていきます。そして、すべての考えをキリストの従順に捕らえてください。「いや、君にはできないね。絶対に入れない。お前はここには入れない。お前はここには歓迎されていない。私には、私の心と思考の両方を守っている神の平安があるのだ。」OK。ここから結論です。ご忍耐感謝します。もう締めくくります。「エレミヤ書 29 章 11 節」実は今、思いついたんです。多くの人にとって、もう一つの人生の聖句ですよね。主は、預言者エレミヤを通して宣言しておられます。

エレミヤ　29

11 わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている――主のことば――。それはわざわいではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

それがクリスチャンとしての私たちへの核心です。それが、教会携挙におけるイエス・キリストの差し迫った来臨、私たちの未来と希望です。どうか元気を出してください。どうか元気を出してください。今から携挙までの間にもっと悪くなったら、その可能性は非常に高く、今もですから神はあなたに約束なさっています。あなたの面倒を見て下さいます。主は決してあなたから離れず、あなたを見捨てられません。主は常にあなたを養われます。ええ、あなたが理解できないのは分かっています。疑問に思って、苦労していることも分かっています。しかし、たとえ神があなたに伝えたとしてもなぜ？という疑問に

すべて答えたとしても、あなたはそれを理解できません。どうやって、無限のご存在の御心が、有限の者に分かりますか？　不可能です。なぜか？の質問が増えるばかりです。子どもが小さい時のように。「なぜ空は青いの？」それは、神様の好きな色だからだよ。「なぜ青が、神様の好きな色なの？」それは…
なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？　私が、私が、私が、私が、私が。さらに、なぜ？の質問が出ます。
そう、その日が来ます。まもなく、大変間近に。もう、なぜ？の質問はなくなります。お～主よ、あの時、今の私が知っていることを知っていたなら、、、お～主は仰います。「あなたに伝えようとしたのだよ。伝えようとしたのだよ。」
最後の１つ。私は最後の１つと言いましたか？　言ってたなら、これが最後の最後です。神はあなたをとても愛しておられます。あなたには分からないでしょう。神があなたに持っておられる愛は、あなたには到底理解できません。神はあなたの頭の毛までも数えておられます。主は、最終的にそれがあなたのためになり、主の栄光のためにならないのでなければ、あなたに何かが起こることを決して許されません。神は、あなたの人生に何かが起こることを許されるのは、それが困難で苦しいものであっても、最終的にそれがあなたのためであり、主の栄光のためだからです。あなたは心を騒がせてはいけません。心の底から主を信頼してください。いつものようにイエス・キリストの福音と 「救いの ABC」で締めくくりたいと思います。
イエス・キリストの福音とは、イエス・キリストにある救いの良い知らせ、子どもにでも分かるシンプルさ、ABC ほど簡単です。実際 ABC よりも簡単、ただの B だけ、なほどです。A は、B に繋がります。
A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。
ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。
「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」
ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由です。私たちは皆、罪びととして生まれました。ですから、イエスが仰るように、神の御国に入るためには、新生しなければならないのです。
「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」
罪に対する罰則があります。すべての人が罪びとです。罰則は、死です。
ローマ人への手紙 6 章 23 節、
「罪の報酬は死です。」
でも、良い知らせがあります。
「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23）
それが A で、次が B です。大変簡単です。
B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると　Believe/信じる。
ローマ人への手紙 10 章 9-10 節
「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」
最後に C です。
C：主の御名を Call/呼び求める。
また再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、
「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

その理由は、
「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」（ローマ 10：10）
最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節　決定打です。
『主の御名を呼び求める者は”みな”救われる。』
それほどシンプルです。皆さんに、今日の、「しかし、神は。ストーリー」証を共有したいと思います。これは絶対的な奇跡です。ドナさんからです。
「こんにちは！ＪＤ牧師！　数週間前に、コロナで入院していた義理の息子のことを書きます。私はその間にこのメモを書き留めました。神が答えて下さると信じていたからです。神は大変ご忠実であられます。出来事の順番に書きます。コロナで息切れしていた数日後の金曜日、義理の息子 DJ は、入院、酸素 8 リットル、飽和度 86%でした。彼の入院後、私は病院の駐車場で 彼が回復するまで断食し祈りました。彼は様々な健康上の問題を抱えていたので、その戦いは厳しいものになるだろうと思っていました。土曜日の朝、私は病院に行き、駐車場で断食して祈りました。私は御言葉に浸り、読んでは泣き、読んでは泣いていました。私の心に大きな慰めを与えてくれる一節が浮かびました。主が仰っているのが分かりました。「DJ は、大丈夫です。」私はさらに泣き、期待に胸を膨らませました。その聖句は、「第二コリント人への手紙 6 章 9 節」です。
「人に知られていないようでも、よく知られており、死にかけているようでも、見よ、生きており、懲らしめられているようでも、殺されておらず、」
土曜の夜には、（酸素）9 リットルになりました。土曜日の夜、看護師に確認したところ、数値は良好だと言われました。夜間に 8 リットルに戻してみると言われました。日曜日の朝、電話で問い合わせたら、16 リットルになっているとのことでした。酸素が吸収悪く、呼吸が速すぎるのです。彼は過呼吸を起こしていたのです。病院の駐車場の車の中で、JD 牧師の説教を見ていました。まず、賛美が始まりました。JD の説教で賛美が見れるのを望んでいたので、涙が出てきました。これで神が私を慰めて下さっていると思いました。説教後、私は神に不可能をお願いしました。JD 牧師は説教の中で、視聴者に「不可能なことを神に求めなさい」と言っていました。ですから不可能に見えても私は神に求めたのです。義理の息子が、一晩で癒されるように。そして断食と祈りを続けました。月曜日の朝、私は駐車場で断食と祈りを続けていました。滞在時間は大抵 4～5 時間程度です。（わお～）月曜日の夜、呼吸が悪くなっています。40 分で、21 リットルの酸素を投与。私は祈り続け、主が示してくださった節を心に留めました。看護師に電話して、肝機能検査の採血をしているかどうかを尋ねました。彼女は「はい、順調です。肝機能は非常に良いです。」と答えました。彼女は、ほぼ驚いていましたが、彼は良くなるどころか、悪くなっているようです。夜も祈りました。火曜日の朝、奇跡とも思えるような出来事がありました。一晩で（酸素）4 リットルに激減しました。それまでとは逆で、呼吸数が半分になりました。一分間に 22 回です。
私たちは信じられず、看護師に本当かどうか、4 回聞きました。彼女は「はい」と言って、彼女自身がびっくりするほど一緒に喜んでくれました。水曜木曜と、断食と祈りを続けました。そして、金曜日ようやく退院することができました。酸素吸入をして退院したとはいえ、病院内で起こった一転した出来事には、圧倒的な喜びがありました。私たちの祈りを聞き、大きく必要のある時に満たしてくださる神のご誠実さに感謝するのみです。
ボーナス（追加）：その過程で、義理の息子の父親が同じくコロナを患っていましたが、土曜日にキリストに心を捧げました。ー拍手喝采ー（私たちの益と神の栄光のためです。）これはまさに奇跡としか言い

ようがありません。主は不可能を可能され、そして追加。主は本当にご忠実で、私たちのすべての信頼に値する方です。」心から主を信頼してください。ご起立ください。祈りで締めくくりましょう。
主よ、ありがとうございます。主よ、感謝します。愛する天のお父様。あなたに畏敬の念を抱きます。あなたに圧倒されます。主よ、あなたは賛美に値する方です。心から信頼します。主よ、賛美チームが歌で締めくくる前に あなただけが御出来になる通り、あなたが聖霊によって、今、本当に傷つき、苦しんでいる人々の心に、慰めと励ましと力を与えてくださるようお願いします。今日話ししたようなことを抱えている人もたくさんいます。中には、そのすべてに当てはまる人もいるかもしれません。主よ、どうか私たちはあなたを切に求めます。イエス様、あなたが唯一の希望です。あなたが唯一の希望です。主よ、お願いします。主よ、どうか早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ
http://www.calvarychapelkaneohe.com/
Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii　　筆記 hukuinn7